**2022 森フェス**

**in 川越**

**2022.11.19**



**ジョイフルの森**

**親子で一緒に歌おう**

1. さんぽ～

となりのトトロ～君をのせて

歩こう歩こう　わたしは元気

歩くの大好き　どんどん行(い)こう

坂道　トンネル　草っぱら

いっぽん橋に　でこぼこ砂利道

くもの巣くぐって　下り道

歩こう歩こう　わたしは元気

歩くの大好き　どんどん行(い)こう

ミツバチ　ブンブン　花ばたけ

日なたにトカゲ　ヘビは昼寝(ひるね)

バッタが飛んで　曲がり道

歩こう歩こう　わたしは元気

歩くの大好き　どんどん行(い)こう

キツネも　タヌキも　出ておいで

探険(たんけん)しよう　林のおくまで

友だちたくさん　うれしいな

となりのトトロ

トトロ　トトロ　トトロ　トトロ

だれかが　こっそり

小路に　木の実　うずめて

ちっさな芽　生えたら　秘密の暗号

森へのパスポート

すてきな冒険はじまる

となりのトトロ　トトロ　トトロ　トトロ

森の中に　むかしから住んでる

となりのトトロ　トトロ　トトロ　トトロ

子供のときにだけ　あなたに訪れる

不思議な出会い

雨ふり　バス停

ズブヌレ　オバケがいたら

あなたの雨ガサ　さしてあげましょう

森へのパスポート

魔法の扉　あきます

となりのトトロ　トトロ　トトロ　トトロ

月夜の晩に　オカリナ吹いてる

となりのトトロ　トトロ　トトロ　トトロ

君をのせて

　　あの地平線 輝くのは

どこかに君をかくしているから

たくさんの灯(ひ)が　なつかしいのは

あのどれかひとつに　君がいるから

さあ でかけよう　ひときれのパン

ナイフ ランプ かばんにつめこんで

父さんが残した熱い想い

母さんがくれたあのまなざし

地球はまわる君をかくして

輝く瞳きらめく灯(ともしび)

地球はまわる君をのせて

いつかきっと出会うぼくらをのせて

父さんが残した熱い想い

母さんがくれたあのまなざし

地球はまわる君をかくして

輝く瞳きらめく灯(ともしび)

地球はまわる君をのせて

いつかきっと出会うぼくらをのせて

2. ドレミの歌～

チム チム チェリー

ドはドーナツのド　レはレモンのレ

ミはみんなのミ　ファはファイトのファ

ソは青い空　ラはラッパのラ

シは幸せよ　さぁ歌いましょう

ドはドーナツのド　レはレモンのレ

ミはみんなのミ　ファはファイトのファ

ソは青い空　ラはラッパのラ　シは幸せよ

さぁ歌いましょう

ドレミファソラシド　ドシラソファミレ

ドミミミソソ　レファファラシシ

ドミミミソソ　レファファラシシ

ソドラファミドレ　ソドラシドレド

どんなときにも　列を組んで

みんな楽しく　ファイトを持って

空を仰いで　ランラ　ラララララー

幸せの歌　さあ歌いましょう

ドレミファソラシドソド

チム チム チェリー

チム　チムニー　チム　チムニー

チム　チム　チェリー

わたしは煙突掃除屋さん

チム　チムニー　チム　チムニー

チム　チム　チェリー

町いちばんのかほう者

みなさん聞いてくださいね

煙と灰を友として

一日はたらき続けても

広い広い世の中で

こんなのんきなことはない

チム　チムニー　チム　チムニー

チム　チム　チェリー

町いちばんのかほう者

みなさん聞いてくださいね

わたしの住まいは　雲の中

煙りうずまく　煙突の

星に間近い　てっぺんは

ロンドン塔より　まだ高い

なんと素敵な　そのながめ

チム　チムニー　チム　チムニー

チム　チム　チェリー

わたしは煙突掃除屋さん

さあさ　みんなで歌いましょう

ラララララララ　チム　チム　チェルー

チム　チムニー チム　チム

チェリー　チム　チェルー

3. 翼をください～

ゆかいに歩けば～手のひらを太陽に

一、いま私の　願いごとが

かなうならば　翼（つばさ）がほしい

この背中に　鳥のように

白い翼　つけてください

この大空に　翼をひろげ

飛んで行(ゆ)きたいよ

悲しみのない　自由な空へ

翼はためかせ行きたい

二、いま　富とか名誉ならば

いらないけど　翼がほしい

子供のとき夢みたこと

今も同じ夢に見ている

この大空に翼を広げ

飛んで行(ゆ)きたいよ

悲しみのない　自由な空へ

翼はためかせ行きたい

ゆかいに歩けば

ゆかいに歩けば　うたもはずむ

おひさまきらきら　風も青い

パルデリー　バルデラー　パルデロー

バルデロ　ホホホ　ホホ　バルデリ

行こう　ゆかいな旅

谷間の小川が話しかける

君たちどこまで　歩くのかね

パルデリー　バルデラー　パルデロー

バルデロ　ホホホ　ホホ　バルデリー

行こう　あかるい道

みどりのこかげで　ひるねをすりゃ

小鳥がおいでと　むかえにくる

パルデリー　バルデラー　パルデロー

バルデロ　ホホホ　ホホ　バルデリー

行こう　森の丘に

手のひらを太陽に

ぼくらはみんな　生きている

生きているから　歌うんだ

ぼくらはみんな　生きている

生きているから　歌うんだ

手のひらを太陽に　すかしてみれば

まっかに流れる　ぼくの血潮(ちしお)

ミミズだって　オケラだって

アメンボだって

みんな　みんな生きているんだ

友だちなんだ

ぼくらはみんな　生きている

生きているから　笑うんだ

ぼくらはみんな　生きている

生きているから　うれしいんだ

手のひらを太陽に　すかしてみれば

まっかに流れる　ぼくの血潮(ちしお)

トンボだって　カエルだって

ミツバチだって

みんな　みんな生きているんだ

友だちなんだ

ぼくらはみんな　生きている

生きているから　おどるんだ

ぼくらはみんな　生きている

生きているから　愛するんだ

手のひらを太陽に　すかしてみれば

まっかに流れる　ぼくの血潮(ちしお)

スズメだって　イナゴだって

カゲロウだって

みんな　みんな生きているんだ

友だちなんだ

4. もみじ～

赤とんぼ～まっ赤な秋～どんぐり

ころころ～大きな栗の木の下で～

 小さい秋みつけた

一、秋の夕日に照る山紅葉(やまもみじ)

濃(こ)いも薄いも数ある中に

松をいろどる楓(かえで)や蔦(つた)は

山のふもとの裾模様(すそもよう)

二、渓(たに)の流(ながれ)に散り浮く紅葉

波にゆられて離れて寄って

赤や黄色の色様々に

水の上にも織る錦

赤とんぼ

夕焼小焼の 赤とんぼ

負われて見たのは いつの日か

山の畑の 桑(くわ)の実を

小籠(こかご)に摘んだは まぼろしか

十五で姐(ねえ)やは 嫁に行き

お里のたよりも 絶えはてた

夕焼小焼の 赤とんぼ

とまっているよ 竿(さお)の先

まっ赤な秋

一、まっかだな　まっかだな

ツタの葉っぱが　まっかだな

もみじの　葉っぱも　まっかだな

沈む　夕日に　てらされて

まっかなほっぺたの　君と僕

まっかな秋に　かこまれている

二、まっかだな　まっかだな

カラス瓜って　まっかだな

とんぼのせなかも　まっかだな

夕焼雲（ゆうやけぐも）を　ゆびさして

まっかなほっぺたの　君と僕

まっかな秋に　よびかけている

三、まっかだな　まっかだな

ヒガン花って　まっかだな

遠くの　たき火も　まっかだな

お宮の　鳥居を　くぐりぬけ

まっかなほっぺたの　君と僕

まっかな秋を　たずねてまわる

どんぐりころころ

どんぐりころころ　ドンブリコ

お池にはまって　さあ大変

どじょうが出て来て　今日は

坊ちゃん一緒に　遊びましょう

どんぐりころころ　よろこんで

しばらく一緒に　遊んだが

やっぱりお山が　恋しいと

泣いてはどじょうを　困らせた

大きな栗の木の下で

一、大きな栗の木の下で

あなたとわたし

仲よく遊びましょう

大きな栗の木の下で

二、大きな栗の木の下で

お話しましょう

みんなで輪になって

大きな栗の木の下で

三、大きな栗の木の下で

大きな夢を

大きく育てましょう

大きな栗の木の下で

小さい秋みつけた

一、誰かさんが　　誰かさんが

誰かさんが　　みつけた

ちいさい秋　　ちいさい秋

ちいさい秋　　みつけた

めかくし鬼さん　　手のなる方へ

すましたお耳に　　かすかにしみた

よんでる口笛　　もずの声

ちいさい秋　　ちいさい秋

ちいさい秋　　みつけた

二、誰かさんが　　誰かさんが

誰かさんが　　みつけた

ちいさい秋　　ちいさい秋

ちいさい秋　　みつけた

お部屋は北向き　　くもりのガラス

うつろな目の色　　とかしたミルク

わずかなすきから　　秋の風

ちいさい秋　　ちいさい秋

ちいさい秋　　みつけた

三、誰かさんが　　誰かさんが

誰かさんが　　みつけた

ちいさい秋　　ちいさい秋

ちいさい秋　　みつけた

むかしの　むかしの　風見の鳥の

ぼやけたとさかに　はぜの葉ひとつ

はぜの葉あかくて　　入日色

ちいさい秋　　ちいさい秋

ちいさい秋　　みつけた

5. 虫のこえ～

とんぼのめがね～ことりのうた

一、あれ松虫が　鳴いている

ちんちろちんちろ　ちんちろりん

あれ鈴虫も　鳴き出した

りんりんりんりん　りいんりん

秋の夜長を　鳴き通す

ああおもしろい　虫のこえ

二、きりきりきりきり　きりぎりす

がちゃがちゃがちゃがちゃ　くつわ虫

あとから馬おい　おいついて

ちょんちょんちょんちょんすいっちょん

秋の夜長を　鳴き通す

ああおもしろい　虫のこえ

とんぼのめがね

とんぼの　めがねは 水いろ　めがね

青いおそらを　とんだから　とんだから

とんぼの　めがねは　ぴか　ぴか　めがね

おてんとさまを　みてたから　みてたから

とんぼの　めがねは　赤いろ　めがね

夕焼け雲を　とんだから　とんだから

こぎつね

　　こぎつねコンコン

やまのなか　やまのなか

くさのみつぶして　おけしょうしたり

もみじのかんざし　つげのくし

こぎつねコンコン

ふゆのやま　ふゆのやま

かれはのきものじゃ　ぬうにもぬえず

きれいなもようの　はなもなし

こぎつねコンコン

やまのなか　やまのなか

くさのみつぶして　おけしょうしたり

もみじのかんざし　つげのくし

こぎつねコンコン

ふゆのやま　ふゆのやま

かれはのきものじゃ　ぬうにもぬえず

きれいなもようの　はなもなし

ことりのうた

ことりはとっても　うたがすき

かあさんよぶのも　うたでよぶ

ぴぴぴぴぴ　ちちちちち

ぴちくりぴい

ことりはとつても　うたがすき

とうさんよぶのも　うたでよぶ

ぴぴぴぴぴ　ちちちちち

ぴちくりぴい

6. パプリカ～Believe～

勇気100%～365日の紙飛行機

**曲りくねり　はしゃいだ道**

**青葉の森で駆け回る**

**遊びまわり　日差しの街**

**誰かが呼んでいる**

**夏が来る　影が立つ　あなたに会いたい**

**見つけたのはいちばん星**

**明日も晴れるかな**

**パプリカ　花が咲いたら**

**晴れた空に種を蒔こう**

**ハレルヤ　夢を描いたなら**

**心遊ばせあなたにとどけ**

**雨に燻り　月は陰り**

**木陰で泣いてたのは誰**

**一人一人　慰めるように**

**誰かが呼んでいる**

**喜びを数えたら　あなたでいっぱい**

**帰り道を照らしたのは**

**思い出のかげぼうし**

**パプリカ　花が咲いたら**

**晴れた空に種を蒔こう**

**ハレルヤ　夢を描いたなら**

**心遊ばせあなたにとどけ**

**会いに行くよ　並木を抜けて**

**歌を歌って**

**手にはいっぱいの　花を抱えて**

**らるらりら**

**会いに行くよ　並木を抜けて**

**歌を歌って**

**手にはいっぱいの　花を抱えて**

**らるらりら**

**パプリカ　花が咲いたら**

**晴れた空に種を蒔こう**

**ハレルヤ　夢を描いたなら**

**心遊ばせあなたにとどけ**

**かかと弾ませこの指とまれ**

Believe

一、たとえば君が　 傷ついて

くじけそうに　 なった時は

かならずぼくが　 そばにいて

ささえてあげるよ　 その肩を

世界中の 　希望のせて

この地球は　 まわってる

いま未来の　 扉(とびら)を開けるとき

悲(かな)しみや　 苦(くる)しみが

いつの日か　 喜びに変わるだろう

I belive in future

(アイ ビリーブ イン フューチャー)

信じてる

二、もしも誰かが　 君のそばで

泣き出しそうに 　なった時は

だまって腕を　 とりながら

いっしょに歩いて　 くれるよね

世界中の 　やさしさで

この地球を　 つつみたい

いま素直な 　気持ちになれるなら

憧(あこが)れや 　愛(いと)しさが

大空に　 はじけて耀（ひか）るだろう

I belive in future

( アイ ビリーブ イン フューチャー)

信じてる

勇気100%

がっかりして めそめそして

どうしたんだい

太陽みたいに笑う

きみはどこだい

やりたいこと やったもん勝ち

青春なら

つらいときはいつだって

そばにいるから

夢はでかくなけりゃ

つまらないだろう

胸をたたいて

冒険しよう

そうさ100%勇気 もうがんばるしかないさ

この世界中の元気 抱きしめながら

そうさ100%勇気 もうやりきるしかないさ

ぼくたちが持てる輝き 永遠に忘れないでね

ぶつかったり 傷ついたり

すればいいさ

HEARTが燃えているなら

後悔しない

じっとしてちゃ はじまらない

このときめき

きみと追いかけてゆける

風が好きだよ

昨日 飛べなかった

空があるなら

いまあるチャンス

つかんでみよう

そうさ100%勇気 さぁ飛び込むしかないさ

まだ涙だけで終わる ときじゃないだろう

そうさ100%勇気もうふりむいちゃいけない

ぼくたちはぼくたちらしく

どこまでも駆けてゆくのさ

たとえさみしすぎる

夜が来たって

新しい朝

かならずくるさ

そうさ100%勇気 もうがんばるしかないさ

この世界中の元気 抱きしめながら

そうさ100%勇気 もうやりきるしかないさ

ぼくたちが持てる輝き 永遠に忘れないでね

365日の紙飛行機

朝の空を見上げて　今日という一日が

笑顔でいられるようにそっとお願いした

時には雨も降って　涙も溢(あふ)れるけど

思い通りにならない日は　明日頑張ろう

ずっと見ている夢は　私がもう一人いて

やりたいこと　好きなように

自由にできる夢

人生は紙飛行機 願い乗せて飛んで行くよ

風の中を力の限り　ただ進むだけ

その距離を競(きそ)うより

どう飛んだか　どこを飛んだのか

それが一番　大切なんだ

さあ　心のままに　365日

星はいくつ見えるか　何も見えない夜か

元気が出ない そんな時は 誰かと話そう

人は思うよりも　一人ぼちじゃないんだ

更多更詳盡歌詞 在

※ Mojim.com　魔鏡歌詞網

すぐそばのやさしさに気づかずにいるだけ

人生は紙飛行機 愛を乗せて飛んでいるよ

自身持って広げる羽根を

みんなが見上げる

折り方を知らなくても

いつのまにか飛ばせるようになる

それが希望　推進力だ

ああ　楽しくやろう　365日

人生は紙飛行機 願い乗せて飛んで行くよ

風の中を力の限り　ただ進むだけ

その距離を競(きそ)うより

どう飛んだか　どこを飛んだのか

それが一番　大切なんだ

さあ　心のままに　365日

飛んでいけ !　 飛んでみよう !

飛んでいけ !　 飛んでみよう !

飛んでいけ !

**川越を歌おう**

**自然を歌おう**

7. Mr.スイートポテト

作詞・作曲小林範子

一、Mr. スイートポテト ぼくはさつまいも

南の国 から　 やってきた

食べものの 王様

江戸の飢饉にも　大活躍

安くてうまい　ファーストフード

**ベニアカ　ベニはるか**

シルクスウィート

みんな兄弟

Mr. スイートポテト　いまは「トキモ」

栗よりうまい　１３里

With huffing and Puffing

Please try one! Try One!

二、Mr**.** スイートポテト ぼくはさつまいも

南の国 から　 やってきた

食べものの 王様

チョコもアイスも　ライバルだけど

ゴディバに負けない　ゴジラだぞ

いもせんべい　いもビール

いもアイスクリーム

みんな兄弟

Mr. スイートポテト　いまは「スイーツポテト」

ふうふう言って　食べてね

With huffing and Puffing

Please try one! Try One!

**川越伝説による**

**新わらべうた**

8. 河童の伊勢まいり

作詞寺島悦恩・作曲小林範子

一、カッパ　カッパ　カッパカパァ

カッパ　カッパ　カッパカパァ

(三部輪唱 くりかえし)

 おいらは小畔(こあぜ)の　小次郎河童

いたずら好きの　川の主(ぬし)

仲よしこよしの　三匹で

お伊勢まいりと　しゃれこんだ

カッパ　カッパ　カッパカパァ

 (くりかえし)

二、カッパ　カッパ　カッパカパァ

カッパ　カッパ　カッパカパァ

(三部輪唱 くりかえし)

おいらは伊草の 袈裟坊(けさぼう)河童

しっかり者の　川の主

たにしのふたに　術(じゅつ)をかけ

小判にみせて　ふるまった

　　カッパ　カッパ　カッパカパァ

 (くりかえし)

三、カッパ　カッパ　カッパカパァ

カッパ　カッパ　カッパカパァ

　　 (三部輪唱 くりかえし)

おいらは小沼(こぬま)の　かじ坊河童

ひょうきん者の　川の主

いんちきばれて　逃げかえり

二度と旅など　出なかった

カッパ　カッパ　カッパカパァ

 (くりかえし)

9. よりみち八幡みんぶいなり

民部稲荷の歌

作詞寺島悦恩・作曲小林範子

一、虹の向こうの八王子　民部さまのお屋敷に 毎晩出かける　小坊主しんぼち

二、あんなとこお寺があったかな

　　それでもおしょうさんはお礼に

　　ごちそういっぱいおもてなし

　　民部さまをおまねき

ご利益(りやく)いっぱい民部さま

　　ぼんしん山川越へ

　　はちまんえんまん　きらりきらり

　　コンコンカップルご成婚

三、民部さまはごきげん

ひとつ相撲でもとろうかな

　　強かったあら勝った　また勝った民部さま

四、いちようの下の民部さま

いちょうの葉っぱもきらきら

　　大判小判もきらっきら

　　花手水(ちょうず)には　てまり花

　 ご利益(りやく)いっぱい民部さま

　　ぼんしん山川越へ

　　はちまんえんまん　きらりきらり

　　コンコンカップルご成婚

10. 九十川 (くじゅうがわ)

作詞寺島悦恩・作曲小林範子

南古谷を　流れる川は

どうして　そうして　呼ばれたの

南古谷を　流れる川は

どうして　そうして　呼ばれたの

　 くねくね曲がって　曲がって九十も

曲がって くねった　川だから

くねくね曲がって　曲がって九十も

曲がって くねった　川だから

11. 虹の玻璃(ちきゅう)

作詞寺島悦恩・作曲小林範子

一、時は止まった

人影も凍る街

嘆きの星

The earth can be beautiful again

吹きすさぶ風に

舞い散る灰色の雪

ともしびの森

The earth can be beautiful again

かろやかに鳥が

笑いかける花

輝ける森が

語りかける朝

二、オリオン遥かに

よみがえれ夢の星

虹の玻璃(ちきゅう)

The earth can be beautiful again

 青い空と

　水と風のふるさと

 天の箱舟

The earth can be beautiful again

かろやかに鳥が

笑いかける花

輝ける森が

語りかける朝